



幸せな学校に

ふかえ 校長室だより

10

October 2026

大阪市立深江小学校長 西岡 貴史

2030年に向けて学校が変わる

文部科学省が定める教育課程（カリキュラム）の基準を「学習指導要領」といいます。学習指導要領はおおむね10年ごとに改定され、それに合わせて教科書も新しくなります。

現行の小学校学習指導要領は2017年（平成29年）に告示され、2020年度（令和2年度）から実施されています。「主体的・対話的で深い学び」が重視され、「道徳科」「外国語科」の充実が求められました。次期学習指導要領は2030年度（令和12年度）からの実施に向けて検討が進められており、8月末には審議の素案が発表されました。引き続き「主体的・対話的で深い学び」を充実させることが示されています。

報道などで特に話題となっている主な内容は次のようなことです。

- ① 情報教育の充実… 生成AIの発展も踏まえ、デジタルを適切に活用する力を育てること。
- ② カリキュラムの柔軟な運用… 45分授業を40分授業にするなど、授業時間を工夫し、学校独自の学びの時間を生み出せることが可能になること。
- ③ 探究的な学びの充実… 自己の興味・関心に関わる課題等に取り組む探究的な学びを進めること。

このほかにもさまざまな検討が進められており、社会の変化に合わせて学校教育も少しずつ変わろうとしています。しかし、その根本にあるものは変わらないと思っています。

それは、子どもたちが幸せに生きていくための力を育むことです。一人ひとりの力を伸ばすだけでなく、互いを大切にしながら、みんなでよりよい社会をつくろうとする姿勢を育てることが大切です。

これからの時代に合わせて変えるべきものは変え、大切にしたいものは守りながら、子どもたちの成長を支える学校づくりを進めていきたいと思っています。

めざす運動会～体育と運動とスポーツ～

10月17日（土）は本校運動会を予定しています。子どもたちみんな楽しみにしています！と言いたところですが、中には運動が苦手で、運動会を憂うつに感じている子もいます。「がんばれ！」「楽しんで！」と声をかけたくになりますが、そう簡単なことはありません。走るのが遅いこと、ダンスが苦手なこと、友達からどう見られるのか。さまざまな不安を抱えている子もいることでしょう。

ところで、タイトルの3つの言葉の違いは何でしょう。学校の授業で行っているのは「体育」です。生涯にわたって運動やスポーツに親しむための土台を育てるものです。「運動」は体を動かす活動そのもの、「スポーツ」はルールのもとで競い合ったり、記録や勝敗を楽しんだりする活動です。学校では「体育」を大事にしたい。そして「運動会」をみんなのものにしたいと考えています。

運動会では、どうしても勝ち負けや順位など結果に目が向きがちです。しかし、それだけが大切なわけではありません。最後までやりきったこと、友達と力を合わせたこと、一生懸命応援し合ったこと。そんな一人一人が楽しく活動することに大きな価値があります。

私たちは、運動が得意な子だけでなく、苦手な子も「参加してよかった」と思える運動会にしたいと考えています。人と比べるのではなく、自分なりの成長や挑戦を感じられる機会にしたいのです。

体を動かすことには本来、楽しさがあります。運動会を通して、その楽しさを少しでも感じ、「また体を動かしたい」と思う子どもが一人でも増えることを願っています。どうぞ温かいご声援をよろしくお願いいたします。



学校ホームページ